

様式第4号

2023年 5月 1日

伊丹市議会議長
様

議員名 高橋有子

2023年4月政務活動費収支報告について

伊丹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、別紙のとおり
2023年4月政務活動費収支報告書を提出します。

(別紙)

2023年度 4月分 政務活動費収支報告書

議員名 高橋 有子

1. 収 入

政務活動費 60,000 円

2. 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
1. 調査研究費	0	
2. 研 修 費	0	
3. 広 報 費	230,230	印刷
4. 広 聴 費	0	
5. 要請・陳情活動費	0	
6. 会 議 費	0	
7. 資料作成費	0	
8. 資料購入費	0	
9. 人 件 費	0	
10. 事 務 所 費	0	
合 計	230,230	

3. 残 額 -170,230 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費における活動報告書

事業・活動の成果

◆ 2023年3月議会報告チラシ印刷の成果

・ 3月議会報告のチラシ

子どもの声を聴くということ、就学前施設の再編、「保育士等の配置基準及び地域区分の見直し等を求める意見書」全会一致で可決されました、予算委員会について、を記載しました。

「子どもの声を聴くということ」については、若者から「政治にマジで興味ない」とお声をいただきました。もっとこちらから近づいていかなければ、彼らが伊丹市から出て行ってしまうのではないかと懸案しています。

「保育士等の配置基準及び地域区分の見直し等を求める意見書」については、各こども園の保護者から「保育士の先生が足りない！何とかしてほしい！」とお声をいただきました。

予算委員会については、「子ども2人以上を同時に就学前施設に預ける保護者の経済的負担を軽減するために、所得に関わらず第2子の保育料を令和5年9月から無償化します。」の部分に、「私も対象から外れる180人の1人です。」と、数名の方からメールが届きました。

議会報告チラシをご覧になった方から、LINE・電話・メールでの相談が集まっています。相談を担当課の方にお繋ぎし、市民サービス向上に努めていただいています。また、その市民からの声をもとに議会の一般質問や委員会での質問・提案に繋げています。

参考書類 2 - 1

〔調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費〕 ※該当項目を○で囲む

報 告 書

領収書 番号	2
-----------	---

日時	2023年4月6日	
場所 (視察地)	大阪府大阪市淀川区三国本町2-1-7	
参加者 出席者 相手方	株式会社 三星社	
目的 内容 結果(成果) 等	<p>目的：3月議会報告チラシ 内容：3月議会報告チラシの印刷 成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの声を聴くということ」については、若者から「政治にマジで興味ない」とお声をいただきました。もっとこちらから近づいていかなければ、彼らが伊丹市から出て行ってしまわないかと懸案しています。 ・「保育士等の配置基準及び地域区分の見直し等を求める意見書」については、各こども園の保護者から「保育士の先生が足りない！何とかしてほしい！」とお声をいただきました。 ・予算委員会については、「子ども2人以上を同時に就学前施設に預ける保護者の経済的負担を軽減するために、所得に関わらず第2子の保育料を令和5年9月から無償化します。」の部分に、「私も対象から外れる180人の1人です。」と、数名の方からメールが届きました。 ・議会報告チラシをご覧になった方から、LINE・電話・メールでの相談が集まっています。相談を担当課の方にお繋ぎし、市民サービス向上に努めていただいています。また、その市民からの声をもとに議会の一般質問や委員会での質問・提案に繋げています。 	
上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等	金額(円)
	328900×0.7=230230	230230
	合 計	230,230 円

《領収書添付台紙》

領収書
番号

2

【領収書添付枠】（スペースが不足する場合は裏面を使用）

※重ならないように貼付すること。

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。

支出内容

広報費 3月議会報告チラシの印刷

総経費

328,900 円

政務活動費として
計上する額

230,230 円

$328,900 \times 0.7 = 230,230$

57500部

領 収 証

高橋 あこ 様



領収金額	百万	千	百	十	円
	3	28	9	0	0

上記の内

消費税分 29,900円

令和 5 年 4 月 6 日

上記の金額正に領収いたしました

株式会社

三 星 社

大阪市淀川区三国本 12-157

扱
者
印

届け! あこにお任せ! 市民のメッセージ!

高橋あこ 伊丹 🔍 で検索!

高橋あこがあなたの声と伊丹市をつなぐ!

2023年 伊丹市議会
議会報告 vol.15

[mail] gakotakahashi@gmail.com
[WEB] https://www.takahashiako.com

連絡先住所:
〒664-0887
伊丹市海野北1丁目3-2
☎ 030-3620-6463

あなたの声を聞かせてください!



1. 子どもの声を聴くということ

昨年、子ども基本法が制定され、この4月に施行されます。

子ども基本法では、第3条第3号、同条第4号で…

年齢や発達に応じて子ども(心身の発達の過程にある者をいい、若者を含む。)の意見表明機会の確保・子どもの意見の尊重が基本理念として掲げられるとともに、第11条で、子ども施策の策定等に当たって子どもの意見の反映に係る措置を講ずることを国や地方公共団体に対し義務付ける規定が設けられています。

子ども大綱によると「子どもまんなか社会」とは、「常に子どもや若者の最善の利益を第一に考え、子どもや若者に関する取組・政策を社会の真ん中に据える」ことって書いてあります

「真ん中」

今の子どもは、少子化、貧困、いじめ、不登校、自殺…と複雑化しています。なんとかせねば…

若者施策について

「若者をどのようにとらえているのか」見解は?

「若者の力を信じて尊重し、若者の力を活かせるまちとなっているのか」見解は?

今年の二十歳の祭典では、伊丹市大使である「Da-iCE」の花村想太さんから、新成人へお祝いのビデオメッセージを送っていただいたり、本市への愛着の醸成を図っている。

若者の皆さんが社会の仕組みや世の中をどうしていけばいいのか考えて行動することや声をあげることが、今後ますます重要になる。まちへ愛着を持っていただいて、願わくばその現在や今後へ関心を持ち、まちづくりにも参加していただくことを期待している。

市民の参画と協働によるまちづくりを推進する上で、市民には若者の皆さんも当然含まれており、若者の皆さんの参画と協働も進展しているものと考えている。

さらなる参画と協働の進展のため、その前提条件となる本市に対する愛着の醸成を、若者の皆さんに着目して実施している。

え? それで、若者参画なの?

二十歳の祭典で紹介しました

愛着を持っていただいた次のステップとして街をどうしていくか考えてほしい。行政から強制的に出てきてというものではなく、自発的に若者から出てきてほしい。

でも、今まで声を聞かれてこなかった、聞かれてもどうにもならなかったがために、実際は、若者は行動を起こせるようにエンパワメントされておらず、若者の参画と協働は進展していません。若者の声を活かしていこうと思うなら、若者に向けての何らかの戦略が必要と考えます。戦略はありますか?

隣の尼崎ではユースセンターに若者が集まって活発に活動し、今や、スケートボードの練習場所を作る動きになってんねんて! 「若者がまちづくりの主役」だって!

一方、伊丹市には、18歳以上の若者の計画はありません。市の現状認識としては

市民に若者は入ってるんだから若者にこだわる必要はない

市民には若者の皆さんも当然含まれていることから、若者に特化した「戦略」については、その必要性の有無も含めて研究したい。

しかし、子ども若者計画を作る町や、戦略をとる市町もあります。共通しているのは、自分たちで街は変えられると思える経験をすることによって、若者の参画が促されていくと考えられていること!

2023年 伊丹市議会3月議会報告

2. 就学前施設の再編について

伊丹市の就学前施設でのインクルーシブ教育(特別支援教育のこと)は通称「にじいろ保育」と呼ばれます。

対象となるのは、診断の有無にかかわらず、集団生活において個別の支援が必要な児童。

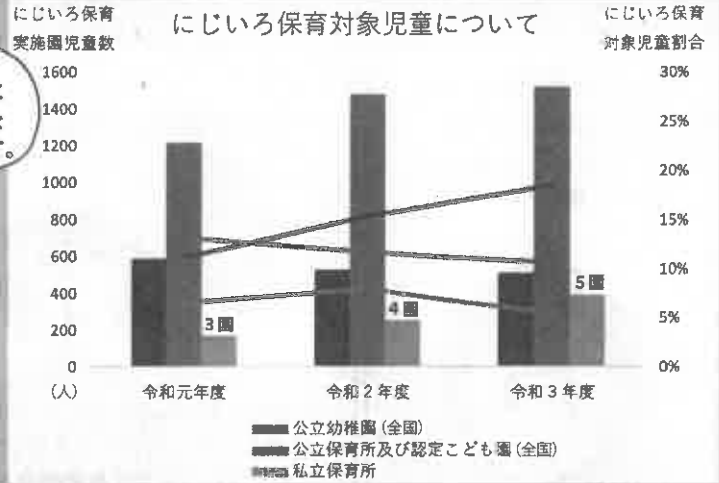
各施設においては、組織的かつ計画的に個々の特性に応じた支援を進めています。

今のように私立保育所を増やしていくことで、いずれの時点で私立保育所に空きが出てくる。その時、障害児保育が切り捨てられてしまうのではないかと心配しています。

保育所待機児童の状況や保護者のニーズ、私立幼稚園との共存共栄や財政的な視点で再編が考えられてしまうと、特別支援対象児の行き先が無くなってしまわないかと心配しています。

今後は、個別の支援を必要とする子どもを受け入れる私立の認可園の拡大に向けて、引き続き幼児教育センターやこども発達支援センター、拠点園等において保育者の学びをサポートするとともに、市全体でインクルーシブ教育・保育を推進し、支援が必要な子どもが安心して通える環境づくりに努めてまいります。

公私立の幼稚園・保育所・認定こども園、各園における「にじいろ保育」対象児童の割合



全ての子が複数園から園選択できる条件を整える事が必要だと考えますが、市の見解を求めます

ほんまに大丈夫?!

ちなみに

平成30年3月厚生労働省通知では、障害児保育に係る保育士等の配置について、「概ね障害児2名に対し保育士1名の配置を基準としつつ、障害のある子どもの状況等に応じて適切に職員を配置し、障害児保育を推進すること」

しかし、伊丹の状況では、公立幼稚園では、障害児5名ごとに保育士1名
公立保育所・こども園および私立認可園では、障害児1~3名で保育士1名の加配となっています。

公立幼稚園
先生1:5 障害児



公立保育所・こども園
私立幼稚園
先生1:1~3 障害児



厚生労働省通知の配置基準に合わせていただきたい！
でも…保育士不足やお金がなくて難しいというのもよくわかる

まず、公立幼稚園の加配の先生の配置基準を、公立こども園や保育所と同様の3対1に！

伊丹市ではR5年度、私立認可園41園のうち6園でしか障害児保育を行っていません。

芦屋市では全認可園で障害児保育を行っています。

私の4年間の想い

こどもの声を聴くということについて…

パブコメ募集してるから意見あったら書いてきたら？説明会開いたから来たら？そこで終わり

これでは、一緒に考えていく姿勢が足りていない、と思います。

大人でさえパブコメや説明会など難しくて参画が出来ないのに、子ども・若者にそれができますか？

でもこちらから近づいていくと、彼らには考えていることは多くあります。

そこに丁寧にリーチして、一緒に考えていくことが、全ての世代に丁寧にリーチできる素地になる…

それが本当の意味で市民参画・協働・熟議の伊丹市になるのではないのでしょうか？

「みんなの声を出すことによって、社会はよくなっていくよね。」
声を出しやすい社会を作ろう!

人口減少の中で大切にしていけるのは、社会を維持するためにはみんなが必要で、全ての人にやさしい社会だと考えています。

学校での合理的配慮と同じように、意見が言いにくい世代・人がいるなら、そこに手当てをていきながら、特に弱い人も尊重されることが『全ての人にやさしいまち』に繋がります。

4年間、様々な課題に取り組んできました!



3. 「保育士等の配置基準及び地域区分の見直し等を求める意見書」全会一致で可決されました。

国に、下記の事項を講ずるよう、強く要望する。

- 1 保育士等の配置基準の見直しを行うこと。
- 2 公定価格にある地域区分については、地域の実情も踏まえ、見直しを行うこと。
- 3 保育士等の賃金水準の引上げなど更なる処遇改善を図ること。
- 4 保育士等の処遇改善に必要な財源を十分確保すること。

今まで多くのお声を
いただけてきました

保育士の処遇、
安すぎる。
何とかして！

1人の先生が
見る児童数を
減らして！

現状 1 今の伊丹の配置基準（1人の保育士の先生がみる子どもの数）は国の定める通り。

子どもの年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
国・伊丹市	3人	6人	6人	20人	30人	30人
独自基準を設けている市もあります。						
芦屋市	3人	5人	5人	15人	20人	20人
西宮市	3人	5人	5人	15人 (20人)	20人	20人

70年以上、
見直しされて
いないのです…
小1で1クラス
35人やで

保育士の待遇に差が生じ、
伊丹の人材がよそに流出する
一因となっている。
人材確保が重要なのに！

ま……

現状 2 伊丹の場合、地域区分が低く公定価格が低い。

保育士の給与に直接影響して
いるのが国の決めている「公定価格」
です。また、公定価格は「地域区分」に
よって物価を鑑みて8区分に
設定されています。

兵庫県西宮市	20/100	高
芦屋市/宝塚市	16/100	↑
大阪府池田市	15/100	
大阪府豊中市	12/100	↓
兵庫県尼崎市	10/100	
川西市/伊丹市	6/100	低
その他地域	3/100	

分子の数が大きいほど、
公定価格の単価は高くなり
保育士の給料も高くなる

これが伊丹市の
保育士給与が
低くなっている
原因なのです。

未来を担う子ども達が
健やかに成長できる
地域社会を実現する
ためには、保育サービスの
担い手を適切に確保する
ことが不可欠です。

4. 予算委員会

児童くらぶについて

児童くらぶの支援員の処遇改善について

2021年3月の予算委員会で、支援員の報酬は阪神間でも低く、初任給であれば報酬月額15万8300円、官製ワーキングプアと呼ばれる年収200万円ほどだと判明。

2022年2月から国が処遇改善の財源措置を示し、9000円引き上げて報酬月額167,300円となった。その後、どうなったのか？

2023年度より、
阪神間中位の
180,500円に！

現在の支援員年齢分布を
見ると、60代以上が
約1/3です

長くキャリアを積んでいただけるように
十分な報酬を得られるよう今後も注視
いたしますようお願いいたします。

給食について

給食は、もともと700円のお弁当
という話でしたが、大は840円
(自己負担額420円) 小は760円
(380円) のお弁当になりました。

入所申請の数は年々増加しています。しかし、R3年度からR4年度に入所申請が減った学校が3校だったのに対し、R4年度からR5年度に申請が減った学校は9校でした。就学援助認定率が高い（経済的に苦しい世帯が多い）学校は軒並み入所申請の数が減っています。

育成料減免対象者は就学援助の対象者に含まれますが、児童くらぶ育成料減免対象からちょっと外れた世帯が多い場合、8000円という育成料が経済的に苦しくて入所をあきらめたという事はありませんでしょうか？

育成料増額の影響
は少ないと考える。

南小児童くらぶ大丈夫？！

大手前短期大学の跡地に
大きなマンションが建ちます。

令和5年度6年度はこのまま対応。
令和7年度に何らかの対策
を検討する

…って

大丈夫って
言ってたやん!!!

R3年6月議会では、補正予算に南幼稚園の解体費用が上がり、反対しました。その時、当局は、南幼稚園は保育需要もなく、放課後児童くらぶの需要もない、教育、子育ての活用はないと判断されたのに…南幼稚園を放課後児童くらぶに活用しないとする具体的な理由について私が質問したのに対し、南小学校区児童数及び南児童くらぶ在籍児童数の推計が令和5年をピークに減少傾向に転じること、また、南小学校はもともと教室数の比較的多い学校であることにより、35人学級が始まったとしても運用の工夫で現状の小学校内での運営が継続可能と見込んだためだと答弁があったのに…

育成料8000円について

児童数は減っていく中、児童くらぶの在籍者数は増えています。

	R3	R4	R5
全17小学校 入所申請数 合計	1,602人	1,743人	1,831人
全17小学校 5月1日の児童数	11,110人	11,074人	未集計

伊丹市の場合、児童くらぶの待機児童ゼロです。伊丹市の児童くらぶは公設公営。他に選択肢はありません。つまり、放課後の児童くらぶの選択肢は1択。

したがって、内実は
その環境にいることが
難しい子はこぼれ落ち、
退所し家にいます

誰もが楽しく行けるような、
保育の質の担保をお願いします

今回の入所申請の結果を丁寧に
分析していただき、誰もが
行けるように減免対象を幅広くした減免
制度に変更をお願いいたします。

不登校

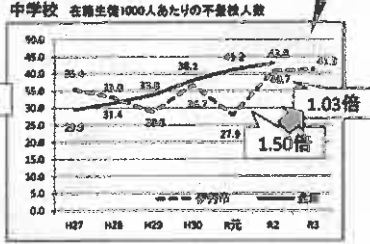
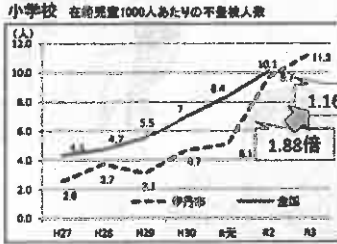
不登校対策支援員配置事業

R3・R4年度はコロナの臨時交付金を使っていたので全小中学校に配置。しかし、R5は臨時交付金がなくなったので、増加傾向が収まらない全小学校のみ配置となりました。

R3 小学校：週15時間×22週、中学校：週25時間×22週（半年間）
R4 小学校：週10時間×35週、中学校：週15時間×35週（1年間）
R5 小学校：週10時間×35週

R3年 国は
小学校13.2
中学校52.6

出席率の推移



(伊丹市HP「不登校児童生徒への対応」と文科省HPの「R3年度、児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より)

令和3年度の公立中学校における在籍児童1000人あたりの不登校生徒数は全国52.6人 伊丹市41.3人で全国を下回っている。

また、中学校はR3年度は前年度比1.03倍からR4年度1月現在0.97倍に微減状態にあった。だから不登校対策支援員は小学校だけになった。

令和3年度末において、小学校で不登校児童全体の4.8%の児童、中学校では不登校生徒全体の18.2%しかやまびこに通えていません。川西のように小中学校に校内フリースクールを作る、あるいはフリースクールへ通う際の補助金など、不登校児の学習保障をお願いしたい。不登校児の学習保障についていかがお考えか？

別室登校があるので、校内フリースクールと同様の機能を備えているとらえている。

そうやったん？ 予算的な措置はなく、今あるものでなんとかやっているだけやねんけど、ほんまに校内フリースクール？



子ども2人以上を同時に就学前施設に預ける保護者の経済的負担を軽減するため、所得に関わらず第2子の保育料を令和5年9月から無償化します。

令和5年9月～

所得基準 (目安)	第1子が就学前	第1子が小学生以上
年収360万円未満	第2子半額→無償化	第2子半額→無償化
年収360万円以上	第2子半額→無償化	第2子全額

第1子の年齢を問わず、実施することは出来ないのか？

検討もしたが...国を上回るような財源が難しい。今回は財源のところで半額のところを無償にとなった。今後動向を見る。



第2子0-2歳で保育所に通っている、第1子が小学生以上の子どもは全園児のうちどれだけのの？

対象から外れる子は180人。対象は600人程度。

180人の方はどんな気持ちなんだろう...第1子の年齢に問わずお願いしたいです。



夏季自由プール事業

子どもの夏休み期間中の「居場所づくり」「体力づくり」の場として、市内4か所の公共プールの無料開放事業を行います。対象者は市内の小中学校に在籍する児童で、1人につき5回まで、各施設所定の日時に利用が可能。

実施予定施設

緑ヶ丘プール	屋外プール
伊丹スポーツセンター	屋内プール
生涯学習センター	屋内プール
障害者福祉センター	屋内プール

夏休み、小学生は単独で「校区から出はいけない」とお手紙をいただいて帰るけど、親と一緒に行く想定？



親御さんの送迎がある想定

今後は、小学校で自由プールは実施されない？

99%しない！

え？そうなん？子どもの体力低下が問題だと言われるのに、体力格差につながらない？

教育の格差をどう考えるの？

各学校に監視員さん雇ったら数千万円かかるって以前に言われた記憶があります...今回は200万円。ほんまにやる気があるんやったら、いろいろできるんちゃう？

今まで市内小学生17小学校で実施してきた自由プールがあったけど...



医療費や保育料の無償化、大変評価しています。お金は無償で嬉しいけど、それと併せて、子どもたちがありのままに生きられて、子どもの権利が保障されて名実ともに権利の主体となれるように仕組みをお願いしたいです。



あこと学ぼう

今、豊中は？

～インクルーシブの取り組みをめぐる～
5月27日(土)10-12時

会場
伊丹市立児童館こらくる
(伊丹市御願塚6-1-1)
2F多目的室
参加費なし 申込不要

豊中市立南桜塚小学校の 橋本直樹校長先生をお招きします。南桜塚小学校ではフル・インクルーシブ教育(すべての子どもがすべての時間を普通学校・普通学級で過ごす仕組みのこと)に向けた実践を模索しておられます。

市政に対するご意見・疑問・お困りごと、一緒に考えさせて下さい！

[mail] gakotakahashi@gmail.com
[WEB] https://www.takahashiako.com

☎ 664-0887 あこ事務所
伊丹市南野北1丁目3-2
☎ 090-3620-6469



HPリニューアル！是非ご覧下さい！



この秋から、子どもの未来をテーマにした映画3本の上映会をしました。同じ時間・空間を共有し、お互いの気持ちを伝え合う対話によって広がっていった、共感の輪。これこそが、未来をつくる力になると実感しています。誠にありがとうございました。

プロフィール

1978年11月生まれ。
王たるキリスト幼稚園、笹原小学校、神戸海星女子学院中高卒。
神戸女学院大学文学部英文学科卒。
システムエンジニアとして8年勤務。
すずはら幼稚園PTA役員を2回経て、「伊丹市子ども・子育て審議会委員」や「伊丹市男女共同参画推進委員」として活動。『伊丹市の子どもたちの未来を考える会』元代表。高1(男)中1(女)小4(男)小1(女)の4児の母。現鈴原小学校PTA会長。
2018年2月、幼稚園・保育所統廃合に反対して23,000の署名を集める。2019年4月に伊丹市議会選に立憲民主党公認で立候補、3286票を得てトップ当選。